

2020 年度版

強化戦略プラン

第一部

公益社団法人 日本ライフル射撃協会

強化責任者： 田村恒彦

連絡先： 03-6454-3181

E-mail： Tamura.t231@gmail.com

強化戦略プラン 第一部（競技団体共通）

バージョン管理

強化戦略プランの改定履歴を記載する。

バージョン	日付	作成・改定者	修正・変更点
1.0	2017/6/15	田村 恒彦	初版策定
1.1	2018/4/1	〃	第1回修正
1.2	2019/4/1	〃	第2回修正
1.3	2020/4/1	〃	第3回修正
1.4	2020/9/30	〃	第4回修正

○バージョン管理

軽微な改定： 小数点に1を加算 例) 1.0 → 1.1

大規模な改定： 整数に1を加算 例) 1.0 → 2.0

■ 共通理念

スポーツ基本法、第2期スポーツ基本計画及び競技力強化のための今後の支援方針（鈴木プラン）を踏まえ、今後のオリンピック・パラリンピック競技大会等で日本が優れた成績を収めるだけでなく、スポーツ庁をはじめ、日本オリンピック委員会（JOC）、日本パラリンピック委員会（JPC）、中央競技団体（NF）、日本スポーツ振興センター（JSC）等と連携・協働し、強力で持続可能な支援体制を構築、継承していくことを目指す。

■ 行動指針

強化戦略プラン実施における行動指針

1. 事業活動

強化戦略プランの実効化及び目標達成に向けて行動し、必要に応じて適切な情報開示に努める。

2. 法令遵守

活動の実施及び活動費の使用に当たり、法令やその他諸規程を遵守するとともに、体制を整備し、高い倫理観を持って行動する。

3. 公正な会計

透明性ある事業運営として、財務、経理を適正に行い、公正な会計原則に則って事業を実施する。

4. 倫理

社会倫理に即し、本事業並びに関連する組織及び個人の名誉・信用を損なわないよう行動する。強化戦略プラン推進に係る活動や決定事項に対して、私的な問題や利害関係を持ち込まない。

5. 情報管理

強化戦略プランに係る情報については、個人情報等に十分留意し、厳重に管理し適切に取り扱う。目的に反する使用や第三者への漏洩は行なわない。

* * *

上記の行動指針に基づき、強化活動を遂行する。

署名（統括責任者）田村 漁彦

競技団体名：公益社団法人 日本ライフル射撃協会

	<p>目的 ライフル射撃界を統括し、代表する団体として、ライフル射撃スポーツの普及及び振興を図り、もって国民の心身の健康に寄与すること。</p> <p>住所： 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号</p> <p>電話： 03-6721-0792 FAX： 03-6721-0793</p> <p>URL： nraj.kyoka@gmail.com</p> <p>会長： 松丸 喜一郎 事務局長： 藤井 彌</p>
<p>理念</p>	<p>ビジョン： ライフル射撃競技の魅力を国民に広く紹介し、生涯スポーツとして健康の増進に貢献するとともに、オリンピック等の国際大会における活躍をもって国民に夢と希望を提供し、国民から愛されるスポーツを目指す。</p> <p>ミッション： 競技レベルを向上させ、東京2020でメダルを獲得する。 次の時代を担う若い選手、指導者を計画的に育成し、東京オリンピック後も競技力の維持、発展を図る。</p> <p>バリュー： 愛される射撃スポーツ、世界一の選手、世界一の指導者、世界一のスタッフ、世界一の練習環境、世界一のチームワークを築く。</p>
<p>実績</p>	<p>【主要国際大会結果】</p> <p>2016 リオデジャネイロオリンピック：参加6名、入賞なし</p> <p>2012 ロンドンオリンピック：参加3名、入賞なし</p>
<p>目標 (現状可能な目標) (4年・8年)</p>	<p>【2020年東京大会（夏季）／2022年北京大会（冬季）】</p> <p>メダル2個（10mAP60M1個、10mAR60M1個） 入賞1個（50mR3×40W1個）</p> <p>【2024年パリ大会（夏季）／2026年大会（冬季）】</p> <p>メダル3個（10mAR60M1個、50mR3×40W1個、10mAP40W1個） 入賞2個（25mRFP1個、ARMIX1個）</p>
<p>強化責任者</p>	<p>【強化責任者】</p> <p>田村 恒彦（日本ライフル射撃協会副会長、選手強化委員長）</p> <p>【強化単位責任者】</p> <p>三木 容子（常務理事、選手強化副委員長、ジュニア育成委員長） 磯部 直樹（参事、選手強化副委員長） 上之園正一（理事、選手強化副委員長）</p>
<p>財務計画</p>	<p>【2020年東京大会（夏季）／2022年北京大会（冬季）まで】</p> <p>東京オリンピック終了後の強化費削減を見越し、公的補助金、交付金に頼っている選手強化費について、協会独自でスポンサーを開拓する等、自主財源の割合を増加させる。</p> <p>【2024年パリ大会（夏季）／2026年大会（冬季）まで】</p> <p>協会のスポンサー収入等の自主財源を更に増加させ、各種補助金等と併せ、十分な選手強化事業費用を確保する。</p>